

第4回 医学生の緩和ケア教育のための授業実践大会

死に向き合う緩和ケア教育

「大学病院の緩和ケアを考える会」では、10年間の模擬授業セミナー、学内で次世代育成していく時代を見据えた授業コンテストを開催してきました。今回は、迫りくる多死社会を踏まえた医学生に対する教育内容を検討するディスカッションを企画しています。さらに、改善するための治療ができなくなった患者さんを目の前にして、医学生が死に向き合うことのできる医療者に育っていくためにはどのような教育が必要なのか、また、授業づくりも考えてまいります。これからの医学教育に一石を投じることのできるセミナーへのご参加お待ちしております。



日時：2017年11月18日（土）10時～17時

場所：東邦大学医学部講義室 東京都大田区大森西5-21-16（TEL：03-3762-4151）

対象：医学部学生に対する緩和ケアの授業に興味のある医療者

費用：5,000円（事前申込・昼食代込）当日参加可能（参加費6,000円）

第1部 ～ワールドカフェ「これからの医学教育に向けて新しい視点の創造へ」

「医学卒前教育としての緩和ケア教育内容の変遷とこれからの医療者に求められること」

プレゼンター：高宮有介（昭和大学医学部医学教育学）



第2部 講演 「死を見つめる」

講師 柏木哲夫 淀川キリスト教病院 理事長

座長 黒子幸一 秦野メディカルクリニック 院長

第3部 ワーク

「患者の死に向き合うこと」をテーマとした授業作り

申し込み締め切り：2017年10月30日

申し込み方法：氏名・所属・職種をE-mailまたはホームページから事務局までお申込ください

終了後には懇親会（参加費：3,000円）を企画しています。申込時にご参加の有無をお知らせください。

<問合せ先>

事務局：jimukyoku@da-kanwa.org ホームページ：<http://www.da-kanwa.org/>

主催：大学病院の緩和ケアを考える会 教育部会

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

このセミナーは競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します。